

スポーツの未来を拓く 日本型マルチスポーツ環境の共創プロジェクト

体育系 教授 大山 高 ・ 助教 稲垣 和希

世界では常識の「マルチスポーツ(複数の競技・運動を経験すること)」が、日本で注目を集め始めている。筑波大学は、官民と共に「日本型マルチスポーツ環境」を構築し、日本のWell-Being向上を目指す。

本事業の一部は、令和6年度スポーツ庁委託事業「地域における子供たちの多様なスポーツ機会創出支援事業」によるものです

現状・諸外国の状況

- 我が国では、運動部活動の地域連携・移行推進に伴い、ジュニア期のスポーツ環境の転換点を迎えており、官・民から「マルチスポーツ」が急速に注目を集め始めた。
- 「マルチスポーツ」は諸外国ではスポーツ施策に組み込まれ、文化として根付いている。体力向上のみならず、探究心や自己決定力の促進など、様々なベネフィットが示されている。

実践的なアプローチ

マルチスポーツイベント・教室

官民と共創した多様なモデルにより
「日本型」の環境を促進



より多くの子どもたちが
スポーツの価値を実感する機会創出



学術的なアプローチ

研究・シンポジウム・提言書

先進国の調査/有識者を集めたシンポジウム
により「日本型」の環境構築を検討



有識者・官民と共に日本型マルチ
スポーツ環境構築を検討する機会創出

複数の競技経験を持つ人のバランスを研究

マルチスポーツ経験者のスキル(運動機能、運動神経の分析、非認知能力、潜在的なマネジメント能力等)を数値化し、データを活用して「日本型マルチスポーツ環境」を促進

競技別能力テストのプログラム開発

各種競技別のスポーツ能力が把握できるプログラムを開発し、運動が苦手だと感じている子どもたち、保護者も含めて「このスポーツやってみようかな」を促進

マルチスポーツ情報のプラットフォーム開設

「多様なスポーツの経験」を探究し、グローバルな視点からスポーツを比較できるプラットフォームをつくり、筑波大学が「日本型マルチスポーツ」の教材となる

産学官連携による「日本型マルチスポーツ環境」の構築が
固定化された日本のスポーツ環境を変革し、未来を拓く